平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

整理番号	11	ー	32

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	おうむ通学合宿事業					
評価者	担当課名		教育振興課	担当係名		生涯教育係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	横田和幸		氏名	佐藤公輔
事業の概要	子ども達の直接体験の中でも不足している生活に関する基本的な知識・技能・習慣についての支援補充をするため、地域の施設を活用した、共同生活体験の調査研究を行う。			全体計画（平成 22 年度～ 23 年度）		
				事業費	国・道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	千円
					一般財源	千円
					事業費計	千円
実施方法	■ 直営		民間委託		その他（　　）	
第５期総合計画（前期）	■ 登載事業		非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～			
	基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進			
	単位施策	3	青少年教育の推進			
	事務事業の種類	■	自治事務		法定受託事務	
	その他計画・根拠等					

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	千円	千円	千円	千円	千円
	合計	千円	千円	千円	千円	千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	児童	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	事業展開が可能な施設の確保及び指導者等の地域ボランティアの体制整備	生活体験等の実施（試行）		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	子ども達の直接的な体験（生活体験、自然体験、文化体験）との関わりについて異年齢の共同生活を通じて支援する。	① 調査	目標年度	平成23年度
			目標値	1 式
			実績値	1 式
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	子どもの自立心や生活力の向上、協調性、社会性が養われるとともに、大人を含めた町民の交流等を深め、地域づくりにつなげる。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
調査	町が取得した雄武農業開発事業所（宿舎）の有効活用としての事業利用の検討の他、人的体制等の対応方策をはじめ事業化の可能性を含めた検討を行った。

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	現段階において事業自体の必要性があるとの認識に立ち試行的実施にむけ調査を進めた。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	事業の必要度は高いが、予定をしていた地域施設活用が困難になるなどの、調査結果が得られた。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 □事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 ■その他	コストをかけずに調査を実施し、一定の成果を上げることができたことから効率的である。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	事業参加対象全児童からの要望調査を行い、事業への重要性を把握することができたが、施設確保を保つことができなかった。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
B	B	
調査検討を進めてきたところであるが、地域施設活用が困難になったことから、試行的実施は難しいと思わる。	同左	

今後の展開方向
（Action）

廃止	休止	
	施設活用が困難になったことから、当面休止とする。	

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）